

改めて、榎木小学校は令和6年度ESDに取り組んでいます。詳しくはホームページをご覧ください。

人を「思い」「遣る」から持続可能

朝はじゃんけんの時間。昨年度から、一日一回のじゃんけんを、偶然挑んでくるお子さんとやっています。古今東西、じゃんけんには異常なほどの説得力があると、私は常々思っているのですが、だからからなのか、この一日一回のじゃんけんが相当なプレミアム感を漂わせているようです。じゃんけんをしたいがために、走り近づいてくる子どもたち。

その中には、3年生のお子さんが結構います。

ただ、多くの場合、一日一回しかないじゃんけんは、終わっている…残念…

「余宮先生、じゃんけんしよう〜!」「あ〜終わってしまった〜、また明日〜〜」

これで、終わり。う〜ん。残念。

こんなやり取りが続いていた最中、3年生のお子さん方、なぜか「チョキ」を出しながら私とすれ違うようになってきました。なぜだ??そんな疑問をもちながら、数日過ごしていたところ、判明しました。その「チョキ」の意味。どうやら、「あ〜終わってしまった〜」と言っている時の私のジェスチャーは、手を大きく広げている。それって「パー」だ。だから、「チョキ」で勝ち!そのルールならば、じゃんけんできているし、勝てる。また明日、ぼくも参加できるね。

その発想の豊かさ、終わりを終わりにしないアイデア、より良いルールに変える柔軟さ。そして、つながりを終わりにしないコミュニケーション力。さすが、「チャレンジ」と目標掲げる3年生らしい、素敵な見方・考え方ですね。

ふと、持続可能ということに想いを馳せました。

SDGsという言葉が世間をにぎわしてずいぶん経ちました。Sustainable Development of Goals (持続可能な開発目標)の略称でSDGs。国際連合が、地球の危機を打破するために、「2030年までにやるべき」と決めた、世界共通の17の約束ごとですね。ただ、その一つ一つがとても大切なものではあるとはわかるが、17のパーツだけ見てもよくわからない。むしろ、関係がないと思ってしまうところが、この問題点として挙げられているほどです。

つまるところ、その本質は何だろう。国際連合では、以下のように説明しています

すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

なるほど、現在の地球には様々な問題があるんだけど、それはもとより「すべての人々」にとってよりよく、「誰一人置き去りにしない」ために、「相互に関連」する目標を達成していくことが肝要だ。つまるところ、自分以外の人に「思い」を「遣る」ということに尽きる。

と、そんなことを考えていると、あるじゃないですか。3年生の目標にも。「人を思いやる」って。これは、持続可能な社会を創る人を育む榎木っ子の目標でもありますね。

